

# TAISEI CIRCLE

たいせいサークル

2000年6月



### CONTENTS

株主の皆様へ	1
「中期経営計画」を 前倒しで達成	
社長 平島 治	

### FINANCIAL DATA

業績の推移	2
第140期決算のご報告	4
第140期連結決算のご報告	6

こんなところに大成建設	8
-------------	---

### CONTRACTS RECEIVED

受注工事のご紹介	11
----------	----

### UNDER CONSTRUCTION

施工中工事のご紹介	11
-----------	----

### CONSTRUCTION COMPLETED

完成工事のご紹介	12
----------	----

株式の状況	14
-------	----

会社の概要	16
-------	----

切手になった仕事	表紙
富士山測候所	裏表紙



# 「中期経営計画」を 前倒して達成

社長 平島 浩

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

現在、建設業界を取り巻く経営環境は、大変厳しいものがありますが、当社グループは激しい競争に勝ち抜き、安定した利益を確保するために、「中期経営計画」を推進し、経営基盤と収益力の強化に全力をあげて取り組んでいます。

「中期経営計画」では、平成13年度までに単体の経常利益300億円以上、当期利益ベースで連単倍率1倍以上、連結有利子負債9,000億円以下を目標としています。平成11年度は財務体質改善のため、保有資産の流動化やグループ事業の整理・統合を積極的に進めました。これにより不良債権や販売用不動産の評価損などの処理を、ほぼ終えることができました。しかし当期損益では大幅な損失となり、誠に遺憾ながら、配当につきましては減配させていただきます。株主の皆様には、ご理解を

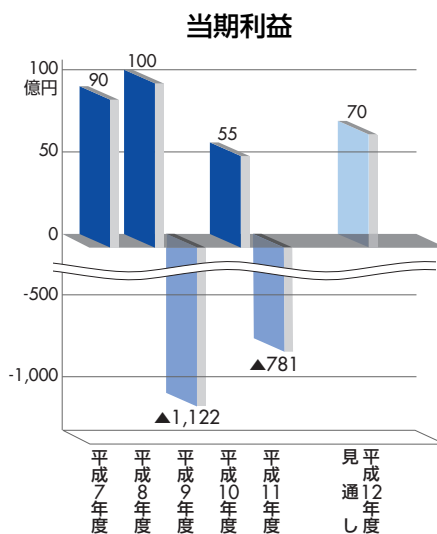
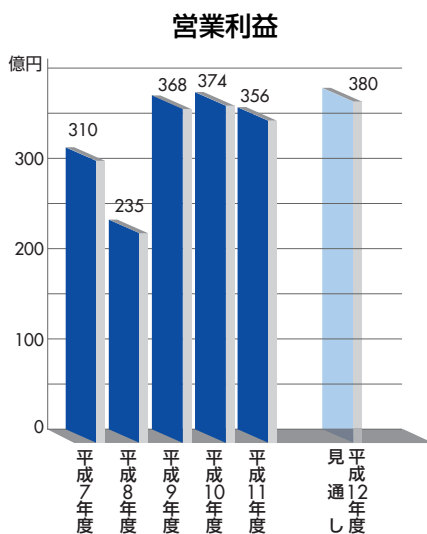
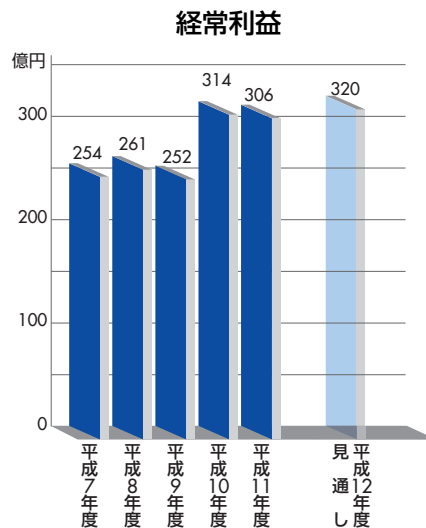
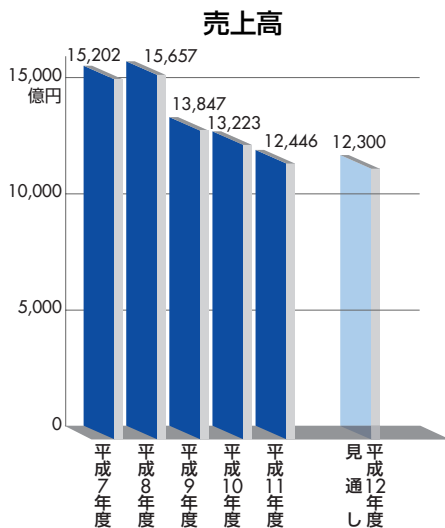
賜りますようお願い申し上げます。

平成12年度は以下の三つの施策を重点的に実行し、「中期経営計画」の目標を1年前倒しして、今年度中に達成する所存です。

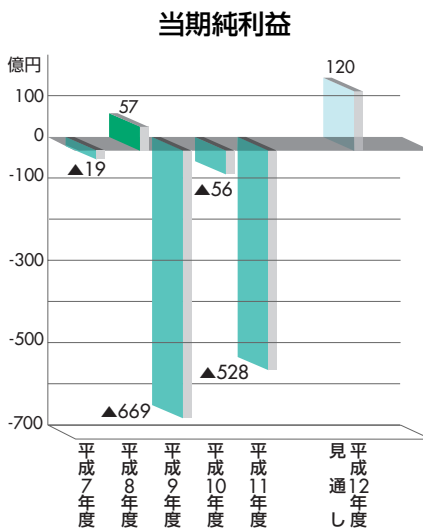
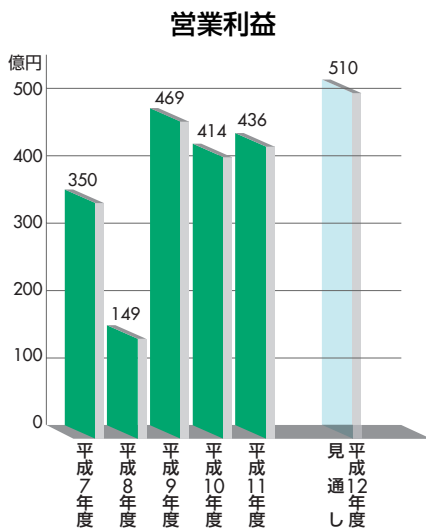
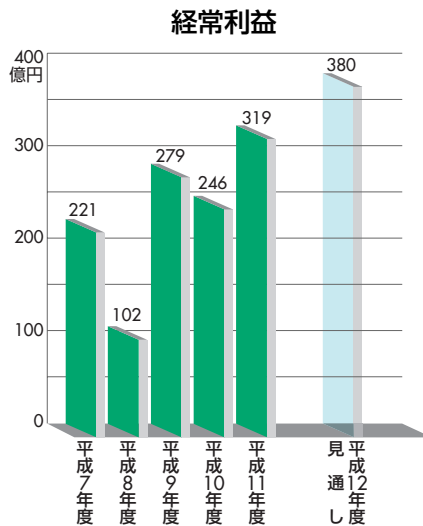
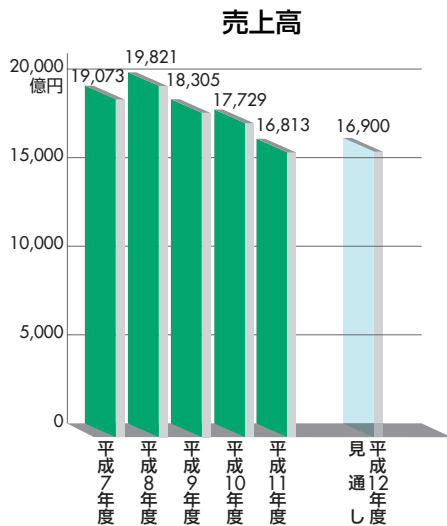
まず第一は、CS行動の徹底と技術営業の強化、そしてターゲットを絞った営業展開などによる「受注の確保」です。第二は、グループで1兆円を超える購買力の活用、間接部門のスリム化などによる「収益力の強化」です。第三は、グループ事業の抜本的な見直し、グループ企業の経営効率化などによる「グループ力の強化」です。

以上の取り組みにより、当社グループをさらに健全で強い経営体質にしていきます。21世紀となる平成13年度からは、新しい経営計画のもとで、「攻めの経営」を行っていく所存でありますので、株主の皆様の一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## ● 単独決算



● **連結決算** 連結範囲及び持分法の適用 連結子会社58社 関連会社数12社





# 第140期決算のご報告

# Financial Data

## ● 貸借対照表の要旨

(平成12年3月31日現在)

(単位: 億円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	10,974	流動負債	11,182
現金預金	1,200	支払手形	1,011
受取手形	548	工事未払金	1,946
完成工事未収入金	1,935	短期借入金	2,254
未成工事支出金	4,098	未成工事受入金	4,103
たな卸不動産	1,757	その他	1,866
その他	1,499	固定負債	3,690
貸倒引当金	△64	社債	1,490
固定資産	6,243	長期借入金	1,040
有形固定資産	2,668	退職給与引当金	594
建物・構築物	743	子会社投資等損失引当金	427
機械・運搬具	48	その他	137
土地	1,724	負債合計	14,872
その他	151	資本の部	
無形固定資産	76	資本金	943
投資等	3,498	法定準備金	827
投資有価証券	1,065	剰余金	575
その他	2,926	任意積立金	506
貸倒引当金	△493	当期末処分利益	68
		[当期損失] (△781)	
資産合計	17,218	資本合計	2,346
		負債資本合計	17,218

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 715億円  
2. 一株当たりの当期損失 △81円05銭

## ● 損益計算書の要旨

(平成11年4月1日から  
平成12年3月31日まで)

(単位: 億円)

営業収益	12,446
完成工事高	11,661
開発事業等売上高	785
営業費用	12,090
完成工事原価	10,432
開発事業等売上原価	693
販売費及び一般管理費	964
営業利益	356
営業外収益	190
営業外費用	241
経常利益	306
特別利益	385
特別損失	1,952
税引前当期損失	△1,260
法人税、住民税及び事業税	50
法人税等調整額	△529
当期損失	△781
前期繰越利益	50
過年度税効果調整額	797
税効果会計適用に伴う 固定資産圧縮積立金取崩額	28
中間配当額	24
利益準備金積立額	2
当期末処分利益	68

## ●利益処分

当期末処分利益		6,850,504,556 <sup>円</sup>
任意積立金取崩額		
固定資産圧縮積立金取崩額	42,844,126 <sup>円</sup>	
特別償却準備金取崩額	7,924,915	50,769,041
合 計		6,901,273,597
利益処分数額		
利益準備金	242,000,000	
株主配当金（一株につき2円50銭）	2,412,004,983	2,654,004,983
次期繰越利益		4,247,268,614

(注)平成11年12月10日に、  
2,412,006,345円  
(一株につき2円50銭)  
の中間配当を実施した。

## ●決算のポイント

### ◆貸借対照表について

総資産は、手持工事高の減少により、平成7年度以降連続して減少してまいりました。当期は、財務体質改善策の一環として保有資産の流動化を図ったこともあり、引き続き減少となりました。

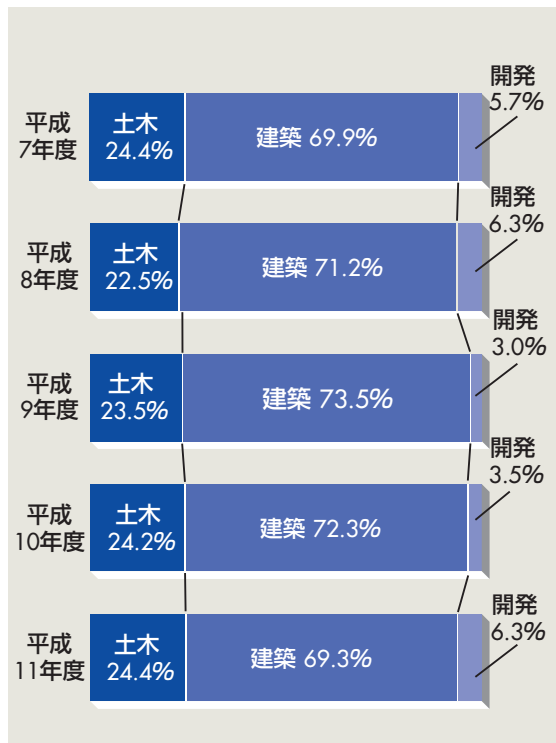
純資産につきましては、多額な当期損失が発生したものの、税効果会計の適用に伴う剰余金の増加により、若干の減少に止まりました。

### ◆損益計算書について

売上高につきましては、手持工事高の減少により3期連続の減収となりました。

当期損益につきましては、保有不動産の流動化、子会社の整理統合などの財務体質改善策を前倒しで実施したことにより、大幅な損失となりました。

## ●売上高構成比（単独）



# 第140期連結決算のご報告

# Financial Data

## ● 貸借対照表の要旨

(平成12年3月31日現在)

(単位: 億円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	14,039	流動負債	15,774
現金預金	1,713	支払手形・工事未払金等	3,954
受取手形・完成工事未収入金等	3,540	短期借入金	5,287
未成工事支出金等	4,499	未成工事受入金	4,403
たな卸不動産	2,322	その他	2,130
その他	2,060	固定負債	4,876
貸倒引当金	△97	社債	1,780
固定資産	8,814	転換社債	54
有形固定資産	5,064	長期借入金	1,499
建物・構築物	1,793	退職給与引当金	795
機械・運搬具・工具器具備品	170	関係会社投資等損失引当金	273
土地	2,945	その他	472
その他	155	負債合計	20,651
無形固定資産	102	少数株主持分	350
投資等	3,647	資本の部	
投資有価証券	1,626	資本金	943
その他	2,317	資本準備金	612
貸倒引当金	△297	連結剰余金	301
為替換算調整勘定	5	資本合計	1,857
資産合計	22,859	負債、少数株主持分及び資本合計	22,859

## ● 損益計算書の要旨

(平成11年4月1日から  
平成12年3月31日まで)

(単位: 億円)

営業収益	16,813
完成工事高	14,243
開発事業等売上高	2,569
営業費用	16,376
完成工事原価	12,670
開発事業等売上原価	2,133
販売費及び一般管理費	1,573
営業利益	436
営業外収益	203
営業外費用	321
経常利益	319
特別利益	626
特別損失	1,800
税金等調整前当期純損失	△855
法人税、住民税及び事業税	82
法人税等調整額	△371
少数株主損失	37
当期純損失	△528

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 1,537億円  
2. 一株当たりの当期純損失 △54円73銭



## ● 決算のポイント

### ◆ 貸借対照表について

資産につきましては、財務体質改善策の一環として保有不動産の流動化を図ったこと、および手持工事高の減少に伴い未成工事支出金が減少したことなどにより、前期比16.8%減となりました。

負債につきましては、グループの財務体質改善の進捗に伴い、有利子負債が前期比23.1%減となりました。

なお、資本は前期比34.3%減となりました。

### ◆ 損益計算書について

厳しい受注環境を反映して、売上高は前期比5.2%減となりました。

しかしながら、施工効率の改善・経費の削減等に取り組んだ結果、経常利益は前期比29.4%増となっております。

当期純利益につきましては、財務体質改善策を推進した結果、528億円の損失となりました。

## ● 主たる連結子会社

大成ロテック(株) 東証一部上場

大成プレハブ(株) 東証一部上場

有楽土地(株) 東証二部上場

成和機工(株)

大成設備(株)

大成サービス(株)

(株)大成情報システム

ケーヨーリゾート開発(株)

有楽土地住宅販売(株)

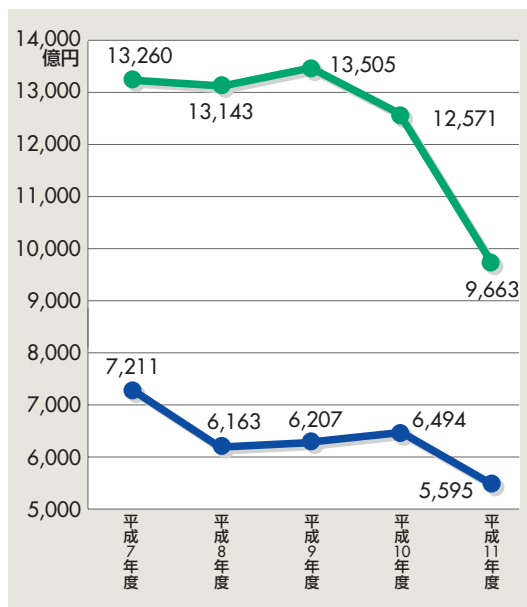
その他

国内連結子会社・関連会社 38社

海外連結子会社・関連会社 23社

## ■ 有利子負債残高

● 単独 ● 連結



# 水族館は癒しのオアシスです

## 水族館づくりのトータルな建設技術

近年、全国で趣向をこらした水族館が、次々にオープンしています。今までにないダイナミックな大水槽や地上の生態系と一体化した水際の展示、イルカやアシカといった海獣のさまざまなショーなどの新しい魅力で、子供たちだけでなく大人も楽しめる「なごみのスポット」として注目をあびています。

最近では「アクアマリンふくしま（愛称）」、「トロピカルアイランド（鴨川シーワールド内）」が今

年7月オープンの予定です。ぜひ一度足を運ばれてはいかがでしょうか。

これらの水族館の多くに大成建設の技術が生かされています。「サンシャイン水族館」「鳥羽水族館」「名古屋港水族館」「かごしま水族館」「鴨川シーワールド」など、全国の約2割が当社施工の水族館です。

これからはお客さまのニーズにお応えして、たくさんのお客さま、さまざまな水棲生物、大勢の人々が集まる施設にふさわしい、快適な空間設計や耐震・免震などの安全性の高い建物づくり、さらに省エネ、維持管理費の削減のためのシステムづくり、定期的なメンテナンスまで、トータルにお手伝い致します。

失われかけた環境の再生や、人々の癒しの場、集いの場として、地域に根ざした施設づくりをめざします。



アクアマリンふくしま（愛称）

発注者：福島県

設計者：株式会社 日本設計



トロピカルアイランド（鴨川シーワールド内）

発注者：三井観光開発株式会社

設計者：株式会社 日建設計

# 華厳の滝 (大谷川) を守れ!

## 崩壊をくい止める岩盤補強工事

世界的な景勝地で、天然記念物でもある日光「華厳の滝」では、現在、それとは気づかれないように岩盤補強工事が進んでいます。

華厳の滝周辺の急崖では、何度となく岩盤の崩壊・崩落が起こっており、観光客に被害が及ぶ可能性があるだけでなく、華厳の滝の景観が変わってしまう状況にありました。

そこで、大谷川を管理している栃木県の発注により、豊富な施工実績をもつ当社の土木技術と高度な情報技術を駆使した安全管理のもと施工を実施しています。

ただし、眺望を妨げるような工事を行うことはできないため、補強工事は崖の表面にはいっさい手を加えずに、崖の裏側に穴を掘り、その中で工事が行われ、観光客からはいっさい見えないようになっています。

補強の方法は、崖の裏側に縦にトンネルを掘り、そこから太いワイヤーを岩盤に向かって打ち込み、表面の岩盤をそのワイヤーで引っ張り、崩落しないように縫い合わせ、つなぎとめていきます。

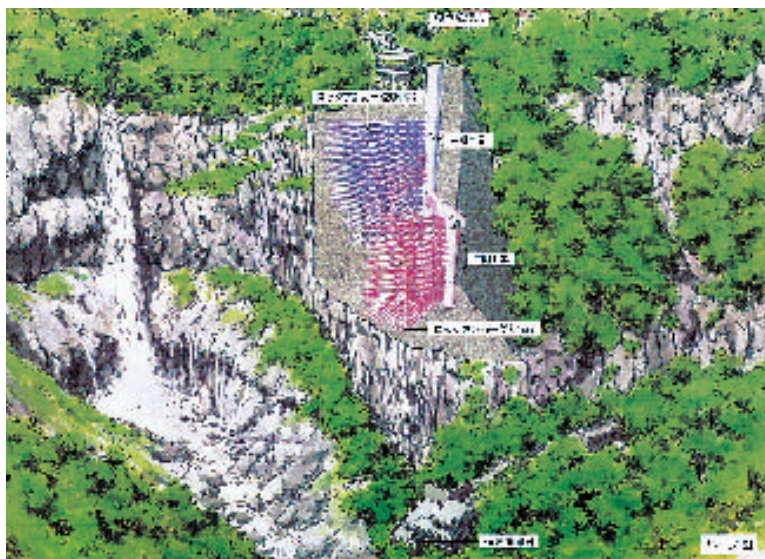
地域の観光資源としても重要な

華厳の滝を守るこの工事は、約4年半の年月をかけて、平成13年3月に終了する予定です。

今後、当工事で培われたノウハウを多方面に活かしていきます。

発注者：栃木県

向かって右側の崖の裏で、補強工事が行われています。



# 21世紀の水

## 海洋深層水取水システムを開発

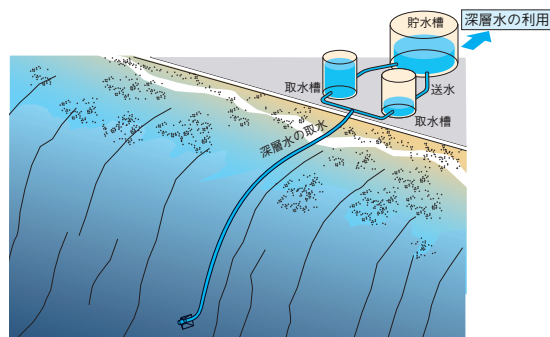
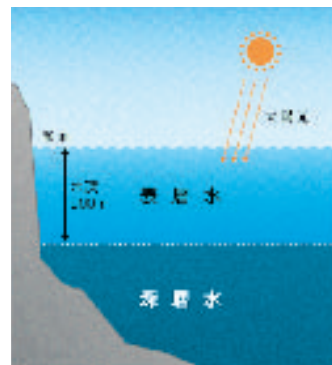
「21世紀の水」として注目を浴びている「海洋深層水」をご存じですか？

海洋深層水とは、水深200メートル以深の深海にある海水のこと。この深度にある海水は、水温が1年を通して低温で安定しています。また、太陽光線もほとんど届かないため、プランクトンなどの微生物や大腸菌などの細菌も少なく、無機栄養塩を豊富に含んでいます。さらにカルシウムやマグネシウムなどのミネラルもバランスよく含まれているため、利用範囲の広い新たな資源として注目を集めています。

すでに海洋深層水を素材とした塩や豆腐、ミネラルウォーター、化粧品などが商品化され、魚介類の養殖、農産物の栽培、アトピー治療、医薬品などへの利用も研究されています。

当社では、こうした広い用途をもつ海洋深層水を、深海から取水するシステムを開発しました。このシステムは、低コストで、しかも海岸線などの自然環境にダメージを与えない方法です。また、業界随一の施工実績を誇る海底パイプライン敷設技術も応用しています。

海洋深層水取水施設は、産業誘致や地元産業の活性化にも貢献し、今後ますます発展が見込まれています。



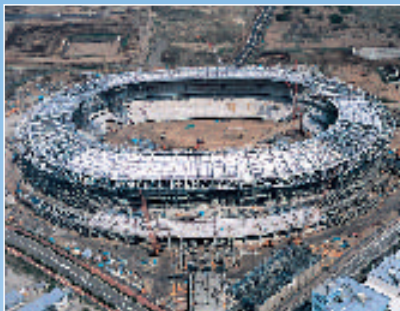
当社の最新技術や、  
 さまざまな取り組みについては、  
 ホームページでもご覧になれます。

大成建設ホームページ  
<http://www.taisei.co.jp/>



# 施工中工事のご紹介

# UNDER CONSTRUCTION



東京スタジアム建設工事  
〔建築工事第1工区〕  
(東京都調布市)



田沢川ダム建設工事  
(山形県飽海郡)



西宮北口駅北東地区再開発  
西棟建設工事  
(兵庫県西宮市)



東五反田二丁目第1地区再開発  
〔業務棟工区〕  
(東京都品川区)



高取山工区(北行)トンネル工事  
(兵庫県神戸市)



仮称豊田市スタジアム  
(愛知県豊田市)

## 受注工事のご紹介

## CONTRACTS RECEIVED

- 東京都 汐留D南街区マンション計画工事
- 東京都 西新宿六丁目南地区再開発(A工区)新築工事
- 東京都 六本木六丁目地区B街区ホテル棟新築工事
- 神奈川県 新川崎(鹿島田駅東部地区)都市型住宅新築工事
- 石川県 石川県庁舎建設工事
- 静岡県 静岡駅前地下駐車場建設工事
- 神奈川県 相模原PC調整池築造工事

- 東京都 常磐新線台東トンネル他工事
- 埼玉県 首都高川縦線トンネル工事
- 徳島県 四国横断自動車道鳴門パーキングエリア工事
- 沖縄県 米須地下ダム第三期建設工事
- 台湾 台湾台北勇軒ビル新築工事
- パキスタン パキスタンインダス高速道路  
コハット工区建設工事

他

# 完成工事のご紹介



さいたまスーパーアリーナ (埼玉県大宮市・与野市)



国際ファッションセンタービル  
(東京都墨田区)



JRセントラルタワーズ (愛知県名古屋市)



23号川越共同溝シールド (三重県三重郡)





東九州自動車道（大分県大分市）



マイカル小樽（北海道小樽市）  
第12回小樽市都市景観賞



福岡空港（西側）国際線旅客ターミナルビル  
（福岡県福岡市）



慈恵大学病院中央棟（東京都港区）

# 株式の状況 (平成12年3月31日現在)

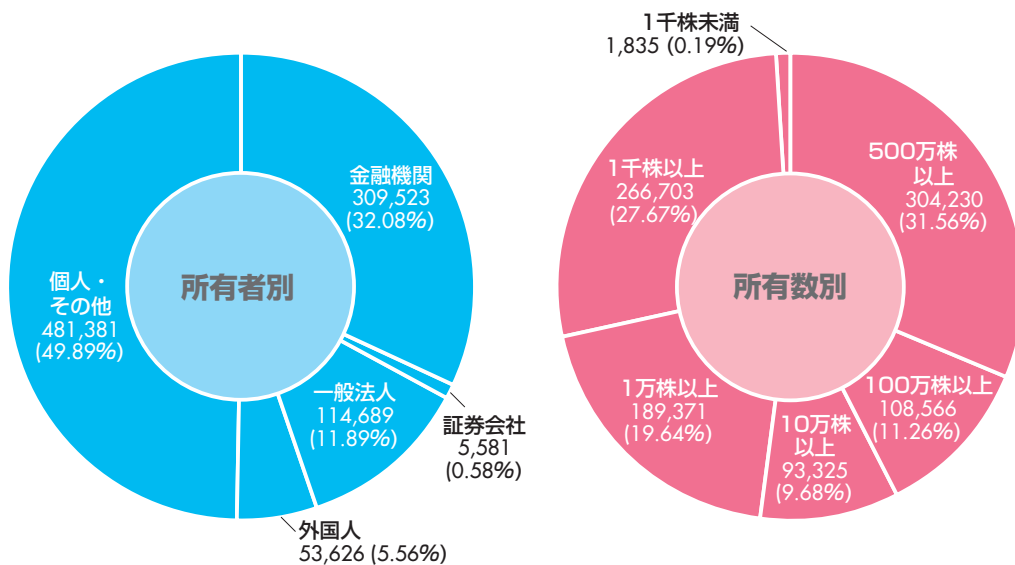
## 1 株式の異動

会社が発行する株式の総数	1,145,000,000株
発行済株式総数	964,802,821株
当期末株主数	141,767名
当期中の名義書換件数	6,033件
当期中の名義書換株式数	97,339,819株

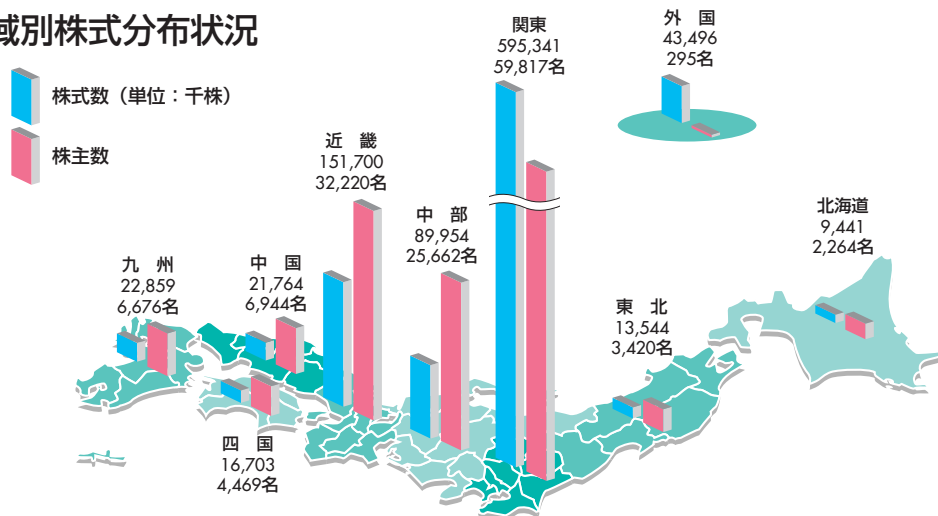
## 2 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
千代田生命保険相互会社	41,201	4.27
株式会社富士銀行	40,516	4.20
大成建設社員持株会	33,900	3.51
株式会社大和銀行	19,854	2.06
大成建設取引先持株会	19,612	2.03
三菱地所株式会社	17,604	1.82
住友信託銀行株式会社(信託口)	15,839	1.64
日本生命保険相互会社	14,030	1.45
千代田火災海上保険株式会社	12,607	1.31
安田信託銀行株式会社	11,867	1.23

## 3 株式分布状況 (単位：千株)



## 4 地域別株式分布状況



## 株主メモ

- 1 決算期** 3月31日
  - 2 定時株主総会** 6月中
  - 3 配当金** 利益配当金は3月31日の最終の株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載された株主、登録質権者又は信託の受託者にお支払いいたします。  
なお、取締役会の決議により、9月30日の最終の株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載された株主、登録質権者又は信託の受託者に中間配当を行うことがあります。
  - 4 上場証券取引所** 東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・フランクフルト（独）
  - 5 公告掲載新聞名** 東京都において発行する日本経済新聞
  - 6 名義書換代理人** 東京都千代田区丸の内一丁目6番2号 第一勧業富士信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目6番2号 第一勧業富士信託銀行株式会社本店証券代行部  
郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
及び問合せ先 第一勧業富士信託銀行株式会社証券代行部  
電話 03(3642)4004（大代表）
- 同 取 次 所** 第一勧業富士信託銀行株式会社全国各支店  
安田信託銀行株式会社本支店
- 手 数 料** 名義書換：無料／株券再発行：株券1枚につき200円 ただし、併合及び満欄の場合は無料／  
単位未満株式の買取り：株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額

### 【お知らせ】

名義書換代理人 第一勧業富士信託銀行株式会社は、平成12年10月1日をもって「みずほ信託銀行株式会社」に商号を変更する予定です。（株主の皆様のお手続きは必要ございません）

# 会社の概要 (平成12年3月31日現在)

## ■商号

大成建設株式会社  
TAISEI CORPORATION

## ■設立年月日

大正6年12月28日

## ■資本金

94,348,298,842円

## ■本店

東京都新宿区西新宿一丁目  
25番1号 新宿センタービル  
電話03 (3348) 1111

## ■従業員数 11,331名

## ■支店

東京支店・関西支店・名古屋支店  
九州支店・札幌支店・東北支店  
広島支店・横浜支店・北信越支店  
四国支店・千葉支店・関東支店  
神戸支店

## ■国内営業所等 95か所

## ■海外営業所

アメリカ営業所・香港営業所  
シンガポール営業所  
クアラルンプール営業所  
ジャカルタ営業所  
ロンドン営業所・ハワイ営業所  
台北営業所

## ■役員 (平成12年6月29日現在)

### ●取締役

取締役会長	山本兵藏
代表取締役社長	平島 治
代表取締役	葉山莞児
取締役	早川正一
代表取締役	潮田 徹
取締役	市川正美
取締役	本田泰三
取締役	熊野隆喜
取締役	田丸 浩
取締役	鶴田宣彦
取締役	南部邦彦
取締役	子田征基

### ●業務執行役員

※社長	平島 治
※副社長	葉山莞児
※副社長	早川正一
※副社長	潮田 徹
専務役員	廣田保之
専務役員	福土勝夫
専務役員	遠藤郁夫
※専務役員	市川正美
専務役員	大林裕治
※専務役員	本田泰三
専務役員	池田忠雄
専務役員	中川 亮
※専務役員	田丸 浩
※専務役員	鶴田宣彦
※専務役員	南部邦彦
※専務役員	子田征基
常務役員	星野利一
常務役員	伊藤美喜男
常務役員	武岡茂生
常務役員	伊藤喜栄
常務役員	横沢国夫
常務役員	奥村紘司
常務役員	古林 徹
常務役員	辻井 剛

### ●監査役

常任監査役(常勤)	友枝幹明
監査役(常勤)	赤堀俊雄
監査役(常勤)	桑原 武
監査役(非常勤)	谷口守正
監査役(非常勤)	佐伯英明

常務役員	山田 浩
常務役員	詫間博康
常務役員	増田光男
常務役員	菊岡保人
執行役員	鈴木利憲
執行役員	加茂隆朗
執行役員	三宅健治
執行役員	武川 孝
執行役員	森田康敬
執行役員	園田邦之
執行役員	井川文雄
執行役員	岡崎洪太郎
執行役員	氏原完典
執行役員	萩原弘道
執行役員	船津邦雄
執行役員	原 邦彦
執行役員	小林幸夫
執行役員	林 静男
執行役員	山内隆司
執行役員	小倉勝彦
執行役員	河西成徳
執行役員	城崎啓一郎
執行役員	寺下 均
執行役員	鎌田 勝

※は取締役兼務者です





写真は、左から「バルコン」「空間王」「輸入住宅」です。

# 大成建設の 御三家。

総合建設会社が個人住宅を手がける以上、品質の高さはもちろん、素材の違い、デザインの好みなどあらゆる希望にお応えしていきたい。そんな思いで仕事を進めてきたら「バルコン」「空間王」「輸入住宅」のそれぞれに個性的な3種の住宅ラインアップになりました。あなたのお近くにも、きっと私たちが手がけた住宅があるはずです。個性を最大限に尊重したいいい住宅をつくること、互いの個性が響きあういい街並ができること。私たちの家づくりは、そんな家づくりです。

安心こそ快適さの基本。  
そんな思いが生んだ  
長寿命、高性能な100年住宅。

一邸ごとに強度をコンピュータでシミュレートする高い耐震性、耐火性に加えて、優れた断熱性、遮音性を先進の技術で実現しました。屋上やルーフバルコニーに土を入れ、緑豊かなガーデニングも思いのままに楽しめます。

コンクリート住宅不朽の名作

**Palcon**

トリプルモノコック構造で  
空間100%活用。  
驚くほど高断熱で高気密。

2×4を超えて「より強く、より広く、より気持ちよく」。先進のトリプルウォール&ルーフを構造体に、更にインテリジェント循環型換気システム「TARCAS」など独創技術が集積された進化した2×4住宅です。

進化した2×4住宅

**空間王**

世界の良品をコレクション。  
性能と美しさが  
調和したデザイン住宅です。

世界から優れた部材や装備を直輸入。海外の伝統的デザインを日本の街並みに溶けこむよう仕立てました。19mm厚の無垢板フローリング、高断熱複層ガラス・サッシなど住むほどに愛着が湧いてくる、こだわり派の住宅です。

大成建設の  
**輸入住宅**

※輸入住宅は首都圏・関西地区に限らせていただきます。

不可能を可能にした工事

# 富士山測候所

切手に  
なった  
仕事

竣工/昭和39年8月 元発注者/気象庁  
発注者/三菱電機(株) 施工/当社

1平成11年、台風観測からは引退したが、  
現在も気象観測が行われている。

(写真提供:気象庁)

2工事のクライマックス、レーダードーム  
設置の様子。(写真提供:三菱電機(株))



**富**士山頂・剣が峰に建つ富士山測候所。伊勢湾台風などの巨大台風で、何千もの人命が失われたことを教訓に建設された気象観測施設です。

標高3,776メートルという条件下での工事が始まったのは、昭和38年のこと。台風を早期探知するためのレーダーを富士山頂に設置することは、気象関係者の念願でした。

しかし、施工できるのは短い夏だけ、永久凍土という地盤、資材の運搬も思うにまかせず、工事は困難を極めました。特に地上の70%という希薄な酸素によっておこる高山病は大きな障害となり、作業員は次々と下山していきました。この工事を担当した当社社員は、自らも高山病に悩まされながら「一生に一度、子孫に誇れる仕事をしよう」と呼びかけ続け、のべ10日以上働いた作業員の名を銅板に刻み、測候所の壁に掲げて後世に残すことを約束し、工事の完成にこぎつけました。

また、三菱電機(株)によって研究・開発されたレーダードームの設置にあたっては、重さ600キロもあるドームの骨組みを、ヘリコプターで山頂まで運び、ホバリングを続けながらレーダー塔に固定するという方法がとられました。噴火口付近の乱気流に巻き込まれたら最後、パイロットの経験と腕だけが頼りという状況での設置でした。

のべ作業員数9000人。文字通り、人々の命がけの努力によって完成。約35年間、台風観測の砦として活躍しつづけ、その観測レベルの高さは世界からも讃えられてきました。しかし、時代の流れとともに気象衛星にあとを譲り、平成11年10月、その役割を終えています。

\*新田次郎著『富士山頂』は、当時、気象庁測器課長で、この工事のリーダーであった新田氏が、工事の苦難の様子を描いたもので、昭和45年に石原裕次郎主演で映画化もされています。



## 大成建設株式会社

〒163-0606 東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 電話03(3348)1111  
<http://www.taisei.co.jp/>